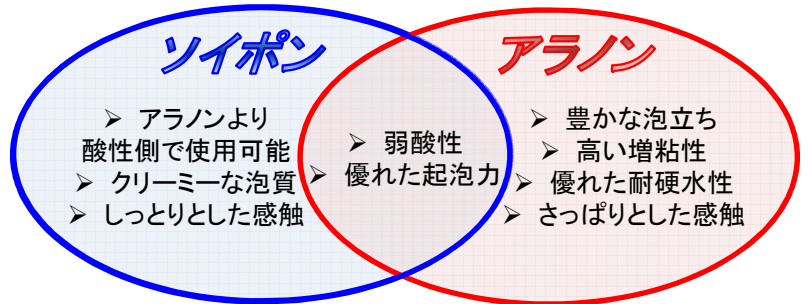
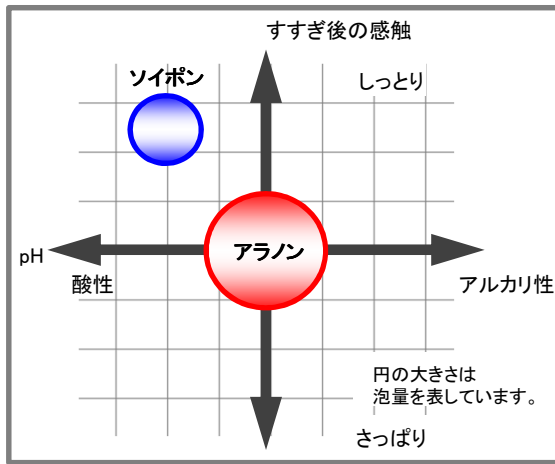


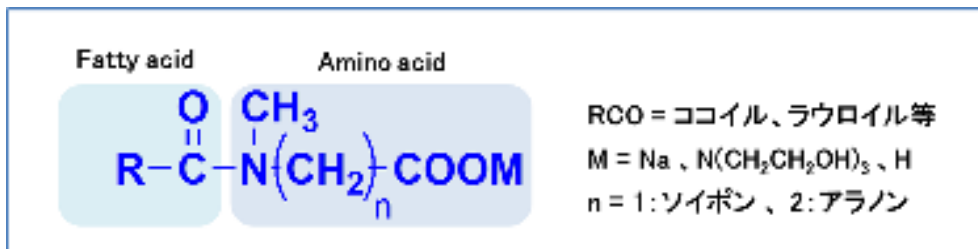
ソイボン・アラノンシリーズ～基本性能と使用感～

ソイボン・アラノンシリーズはアミノ酸の一種であるサルコシン(N-メチルグリシン)、N-メチル-β-アラニンと植物由来の天然脂肪酸から構成されるアミノ酸型界面活性剤です。肌にやさしい弱酸性で使用でき、低刺激であることからマイルドな処方に最適です。

■ソイボン・アラノンシリーズの特徴

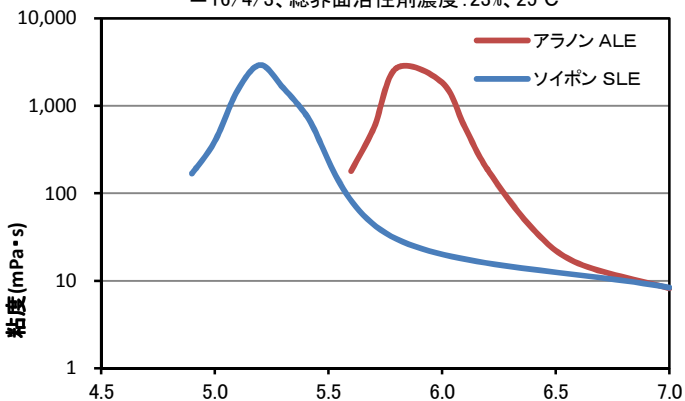


■構造式・一般情報



■粘度挙動 (pH依存性)

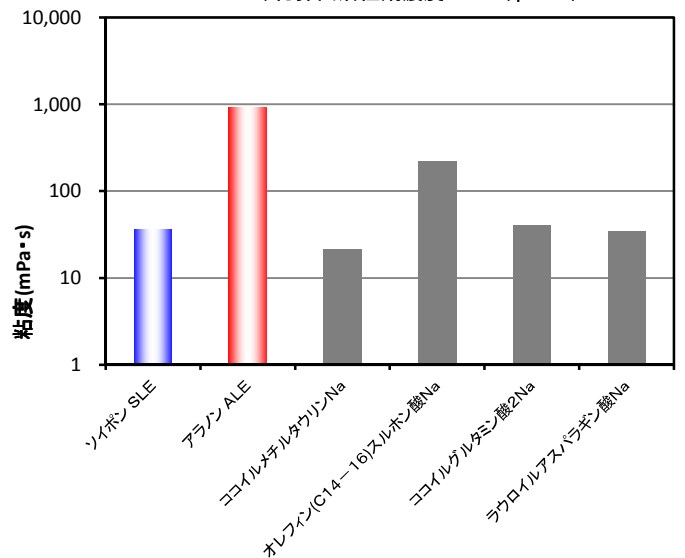
アニオン/ラウラミドプロピルベタイン/ココamidMEA
=16/4/3、総界面活性剤濃度:23%、25℃



ソイボンはpH5.5付近での増粘性に優れます
アラノンはpH6.0付近での増粘性に優れます

■粘度挙動 (pH6.0での粘度比較)

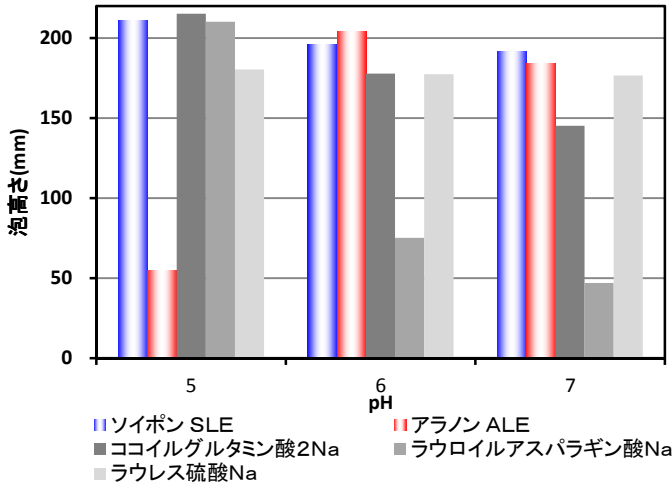
アニオン/ラウラミドプロピルベタイン/ココamidMEA/ポリクオタニウム-10
=13/4/2/0.3、総界面活性剤濃度:19.3%、pH6.0、25℃



アラノンはpH6.0付近での増粘性に優れます

■ 起泡力 (pH依存性)

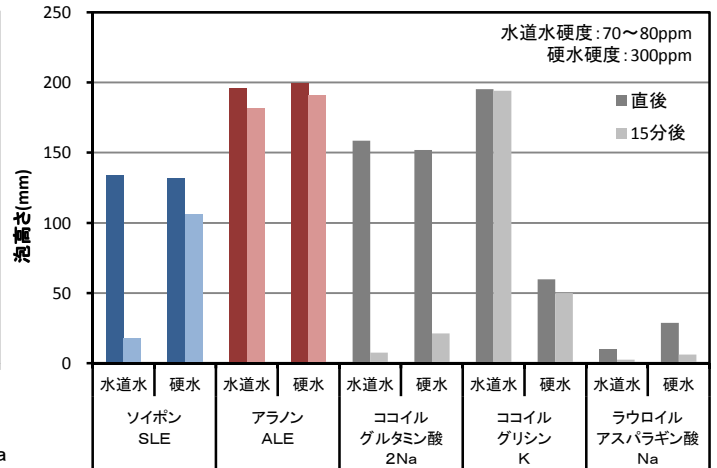
各pHでの各種アニオン単独での起泡力
ロス・マイルス法、測定濃度0.25%、40℃



ソイボンは弱酸性で優れた起泡力を示します
アラノンはPH6.0で優れた起泡力を示します

■ 硬水下での起泡力

硬水中でのソイボン・アラノンの起泡力
ロス・マイルス法、測定濃度0.25%、pH未調整、40℃



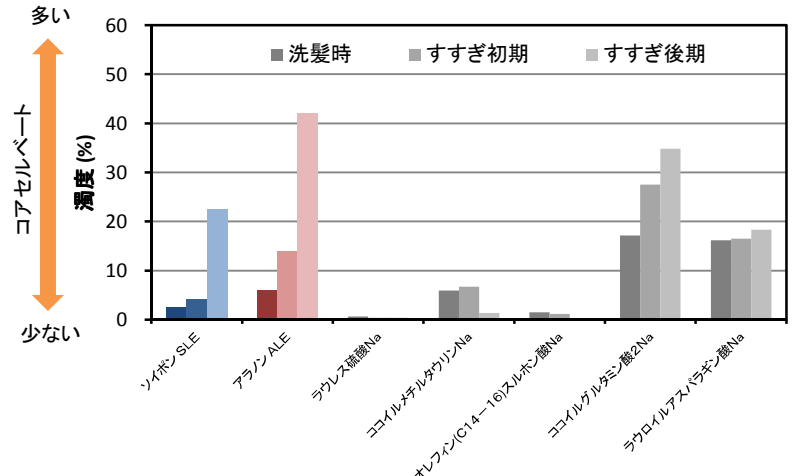
アラノンは耐硬水性に優れます

■ コアセルベートの生成

【評価方法】

各シャンプーを蒸留水で希釈し、洗髪時(10倍希釈)、すすぎ初期(25倍希釈)、すすぎ後期(100倍希釈)の濁度を比較

評価シャンプー処方 (pH6.2)	
成分	純分 (%)
アニオン	13.0
ラウラミドプロピルベタイン	4.0
ココamidMEA	2.0
ポリクオタニウム-10	0.3
クエン酸	適量
精製水	to 100



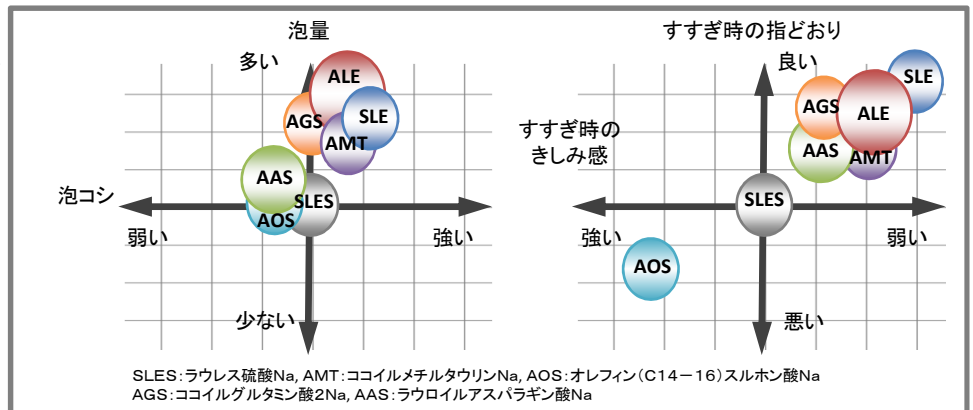
コアセルベート生成によりすすぎ時の髪の絡まりを低減します

■ シャンプー処方による官能評価

【評価方法】

ラウレス硫酸Na配合処方を基準として比較
被験者: 研究員6名

評価シャンプー処方 (pH6.2)	
成分	純分 (%)
アニオン	13.0
ラウラミドプロピルベタイン	4.0
ココamidMEA	2.0
ポリクオタニウム-10	0.3
クエン酸	適量
精製水	to 100



川研ファインケミカル株式会社 ライフ事業部

本社 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-3-3(堀留中央ビル)

TEL.03-3663-9521(代) FAX.03-3661-5630

大阪営業所 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町1-2-6(阪本ビル)

TEL.06-6201-1631 FAX.06-6227-0755

URL: <http://www.kawakenfc.co.jp>

KAWAKEN

ソイボン、アラノンシリーズ; 2014.8.7.